

警察の取組(紹介)

~ソフトターゲットへの対策を強化~

警察ではフランス・パリにおける同時多発事件の発生を踏まえ、ソフトターゲットといわれる競技場、主要駅や商業施設等の大規模集客施設への対策を強化しています。

同事件ではサッカースタジアムや劇場、レストランといった不特定多数の人達が集まる場所が標的となり、いわゆるソフトターゲットに対する警戒の難しさが改めて浮き彫りになりました。

今後、管轄する警察署員が彩の国ネットワーク参画事業者(大規模集客施設)に警戒警備強化を依頼していきます。

報道によりますと、容疑者の1人の家族は事件発生まで過激思想に感化されていることに気付かなかったようです。警察ではテロリストに関する情報収集やテロの兆しを把握するため事業者の皆さまへ不審者発見時の通報をお願いしています。

ご協力をお願いします。

フランス・パリにおける同時多発テロ事件(報道等のとりまとめ)

事件概要

11月13日午後9時過ぎ(日本時間14日午前5時過ぎ)、フランス・パリ中心部のサッカースタジアムや劇場等少なくとも6カ所で銃撃事件等が発生し、130人が死亡、300人以上が負傷した。

オランド仏大統領は、一連のテロはISILの犯行と発表、一方、「フランスのISIL」を名乗る組織がインターネット上に犯行声明を発出し、更なる攻撃を警告している。

犯人グループ

パリ検察によると、実行犯は3グループで少なくとも8人。現場で自爆するなど7人が死亡している。

実行犯のうち5人がフランス国籍であり、生まれた母国でテロを実行する「ホームグロウン・テロリスト」と見られている。

犯人グループは、犯行現場の下見を行い周到に準備、直近にアジト2カ所を設け出撃拠点としていた。

オランド仏大統領は「シリアで計画、ベルギーで準備され、フランス人の共犯者が我が国で実行した」と説明した。

平成27年県民意識調査結果「テロ不安」急増

本年7月に実施した県民意識調査では、『日ごろ不安を感じる犯罪』について、ひったくり等の「通り魔的犯罪」、自動虐待等「子供に対する犯罪」、「振り込め詐欺や架空請求の犯罪」、「サイバー犯罪」、「少年による犯罪」などを選択肢として3つまで選択回答する方法により調査した結果、本年初来の相次ぐテロを受け「国際テロ組織などによるテロ行為」が一昨年3.7%から12.3%と急増いたしました。

彩の国ネットワークでは、県民への安心の付与、テロ対策への理解と協力を得るため情報発信に努めます。

埼玉県警察では、県民の皆さまに対する御意見・御要望等を把握し、「安全で安心して暮らせるまちづくり」を推進していくため、県民意識調査を実施しております。結果を踏まえ、今後も更なる治安の回復に向けて県民の期待に応える力強い警察活動を推進していきます。(県警察ホームページにおいて公開中)

2001年から1年おきに実施、今回が8回目

県警察からのお願い「高齢者被害の振り込め詐欺を未然防止するために」

高齢者を被害者とする振り込め詐欺被害が多発しております。

被害を1件でも防げるように各種対策を実施しているところですが、高齢者の方には、ご家族からの一言が被害を防ぐために効果的です。

参画事業者の皆さまのご家族が被害に遭わないために日頃からご家族へ声掛けをお願いします。(是非、身近な方へも「ご両親等へ声掛け」の運動を広めていただくようお願い致します。)

